

交通安全のポイント

令和2年4月2日
福島県警察本部

1 交通事故発生状況（4月1日現在の概数）

※（ ）は前年同期比

発生件数	死者数	高齢者	けが人数
935件 (-46件)	14人 (-6人)	6人 (-9人)	1,128人 (-19人)

2 交通事故の傾向

○ 今年初めての自転車利用者の交通死亡事故発生

昨日、午後1時50分頃、白河市内において、貨物自動車と高齢男性(77歳)運転の自転車が衝突し、高齢男性が亡くなりました。

○ 自転車利用高齢者の交通事故発生状況（過去5年間）

- ・ 月別では、3～5月、9～12月の発生が多い。
- ・ 時間別では、午前8時～午後0時の発生が多い。
- ・ 通行目的別は、買い物が多い。
- ・ ヘルメット着用者は圧倒的に少ない（620人中4人）0.6%!
- ・ 自転車を運転する側にも、安全運転義務違反、交差点安全進行などの法令違反が伴う（620人中327人）52.7%
- ・ 亡くなった高齢者は26人で、全自転車利用死者の74.3%

※ 昨年、自転車利用中の事故で亡くなった方は4人で、全て高齢者です。



3 交通安全のアドバイス

～ドライバーの方へ～

- 朝の通勤・通学時、夕暮れの退勤・下校時は、多くの自転車が走っていますので、自転車の近くを走る時は、その動きをよく見て、安全確認を行いましょう。特に高齢者や子供の自転車を見かけた際は、十分注意してください。
- 夕暮れ・夜間の事故防止のため、早めのライト点灯、原則上向きライト走行を励行してください。

～自転車利用の高齢者の方へ～

- 自転車は「車両」なので、自転車を運転する時は、運転者としての自覚を持ち、交通ルール・マナーを守るほか、被害軽減のためヘルメットの着用に努めましょう。
- 午前8時～午後0時の発生が多いので、この時間帯に自転車を運転する時は十分注意してください。
- 自宅近くで事故が発生していますので、普段通り慣れた道路でも油断しないで、安全確認を徹底してください。
- 夕暮れ・夜間に自転車で外出する時は、自転車のライトは必ず点灯するほか、明るい色の服装や、夜光反射材を着用しましょう。

交通安全のポイント

令和2年4月2日
福島県警察本部
交通企画課

1 交通事故発生状況（4月1日現在の概数）

※（ ）は前年同期比

発生件数	死者数	高齢者	けが人数
935件 (-46件)	14人 (-6人)	6人 (-9人)	1,128人 (-19人)

注：「発生件数」は人の死亡又は負傷を伴う人身事故をいいます。

2 農耕車の関与する交通事故の特徴

○ 農繁期の事故

間もなく本格的な農繁期を迎えますが、毎年これからの時期は、トラクターや耕耘機など**農耕車が関係する重大交通事故が発生しやすい季節**です。

昨年は、4月に高齢男性が、農耕車の作業中の事故で亡くなっていますので、**安全確認と予防対策**を行い農耕車による死亡事故を防ぎましょう！

○ 交通事故の特徴

公道での農耕車の交通事故は、単独事故と他の車両からの追突事故の2種類が多い傾向にあります。

● 単独事故

- ・ 用水路等への転落（運転操作ミス等により田畑や用水路等へ転落）
- ・ 傾斜地での横転等（農耕車は重心位置が高いため、傾斜地でバランスを崩して横転したり、自然に動き始めた農耕車にひかれる事故）

● 追突事故

- ・ 夜間等における追突（夜間や昼間のトンネル内において後続車からの追突事故）

3 交通安全のアドバイス

農耕車を運転する皆さんは

① 確実な運転操作とブレーキ連結の確認

- ・ 道路状況に応じた確実な運転を行い、特に道路横断時は十分な安全確認を行いましょう。
- ・ 道路走行時は必ず左右のブレーキを連結しましょう。
- ・ 無理な作業計画は立てず、明るいうちに作業を終了させましょう。

② 安全キャブ・フレームの装着とシートベルトの着用

- ・ 救命効果の高い安全キャブやフレームが付いているトラクター等農耕車を利用しましょう。
- ・ 安全フレームやシートベルトを確実に装着しましょう。
- ・ ヘルメットの着用にも努めましょう。

③ ランプ類や低速車マーク等の取り付け

- ・ 農耕車に「低速車マーク」や「反射板」を設置しましょう。
- ・ 運転者自身が夜光反射材用品を身に付けましょう。